

番号

## 活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	土佐清水市立足摺岬小学校
担当課・担当者職氏名	校長 岡村 相良

テーマ	ふるさと足摺岬・松尾の自然から学ぶ		
学校名（学年）	土佐清水市立足摺岬小学校	対象児童・生徒数	21人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <p>○ふるさとの自然環境を知り、ふるさとを愛し、自然を守る心情を育てる。 ○体験的な学習をとおして、身近な自然や地域の方々に触れ、ふるさとの良さを再確認する。</p> <p>2 活動内容</p> <p>（1学期） ヤブツバキ再生プロジェクト ◇ヤブツバキ学習① ・国立公園とヤブツバキ林成立の背景 ・ツバキ林保全活動 ・メダケの伐採と活用方法（苗の日よけ）</p> <p>◇ヤブツバキ学習② ・ヤブツバキとメダケについて ・メダケの伐採と活用方法について（筍採りと調理法・メダケ料理の試食）</p> <p>（2学期） ヤブツバキ再生プロジェクト ◇ヤブツバキ学習③ ・ツバキの種採り ・苗づくり</p> <p>◇ヤブツバキ学習④ ・ツバキの苗の移植</p> <p>（3学期） ヤブツバキ再生プロジェクト ◇ヤブツバキ学習⑤ ・ツバキの苗の植え戻し ・ツバキ林環境保全活動 ◇ヤブツバキ学習⑥ ・まとめ（発表資料づくり・感想） ◇ヤブツバキ学習⑥ ・発表会（展示発表）</p>		
成果	<p>○地域で自然保護活動を行っている「自然を守る会」の活動の一つに「ヤブツバキ再生プロジェクト」があり、「ヤブツバキ再生プロジェクト」への会員さんの思いや活動内容を知ること、学習への意欲を高めることができた。</p> <p>○体験的な学習をとおして、身近な自然や地域の方々とかかわったことで、ふるさとの良さを再確認することができた。と同時に、地域の一員であることを意識することができ、ふるさとを愛し、自然を守る心情や態度が育っている。</p> <p>○苗作りから植え戻しまでは、流れも理解し、スムーズに活動できるようになっている。また、学校で育てている苗の管理も全校児童が当番を決め、行っている。</p>		

（注）

- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

令和2年度山の学習支援事業費補助金 活動報告書（添付資料）

学校名	土佐清水市立足摺岬小学校
活動内容 1	オリエンテーション ・足摺岬の自然の成り立ちを知る。（振り返り） ・ツバキ再生プロジェクトの一環となる活動をする。
実施日時	令和2年6月16日 9:30～11:30
対象学年・人数	全校 21人、教諭7人
実施場所	足摺岬灯台周辺
講師	山口さん、谷吉さん（環境省自然保護官事務所）浜地さん（市観光協会）佐藤さん（市国立公園*ジオパーク推進課）

（活動のようす）



ヤブツバキやメダケに関するクイズやゲーム等による学習（2年生以上は振り返り学習）を行いました。メダケを伐採し、昨年植え戻したツバキの苗の日よけをつくりました。また、雨による畑の土の流出を防ぐために、土どめ作業を行いました。

（子どもたちの感想）

- ・ツバキクイズがたのしかったです。詳しい説明もしてくれたのでよくわかりました。
- ・ヤブツバキの天敵メダケを使ってヤブツバキの日よけを作るのには驚きました。

（担当教諭の感想）

- ・ゲーム形式で楽しく学習を振り返ることで、1年生にも今年度のヤブツバキ学習への意識づけとなりました。

活動内容 2	メダケについて学ぶ ・ヤブツバキの生育阻害要因となっているメダケについて知る ・メダケの活用について知る（材料・食料等） ・試食会（全児童）
実施日時	令和2年7月13日 9:30～12:00
対象学年・人数	全校 21人、教諭7人
実施場所	足摺岬小学校6年教室、玄関前、体育館
講師	山口さん、谷吉さん（環境省自然保護官事務所） 猿田さん（国立公園*ジオパーク推進課） 浜地さん（市観光協会） 川村さん、西田さん他3名（自然を守る会）

(活動のようす)



3・4・5・6年生が、ヤブツバキの生育阻害要因となっているメダケについての学習を行った。天気が悪く今回のメダケのタケノコ採りはできなかったが、準備していただいたタケノコの皮を剥ぐ作業を行った。自然を守る会の会員さんが、伐採したメダケの活用方法として作ってくれたメダケのお寿司や煮物を全校でいただいた。

(子どもたちの感想)

- ・昔は、メダケを取って道具や家の壁の材料や食材にしていたことがわかりました。
- ・めだけのおすしとおかずがおいしかったです。

(担当教諭の感想)

- ・メダケを活用しなくなったことで、ツバキの生育阻害要因となったことが理解できよかったです。地域の方々との交流を図ることができて良かったです。

活動内容 3	ツバキの苗づくり ・ツバキの種を集める ・ツバキの苗づくりをする
実施日時	令和2年10月14日 9:30～11:20
対象学年・人数	全校 21人、教諭7人
実施場所	足摺岬周辺・足摺岬小学校校庭
講師	山口さん、谷吉さん（環境省自然保護官事務所）

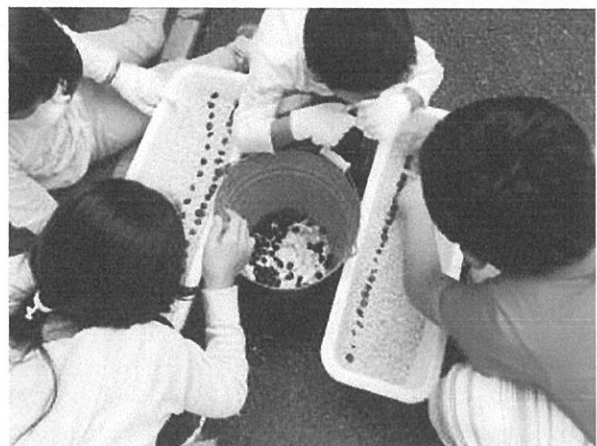
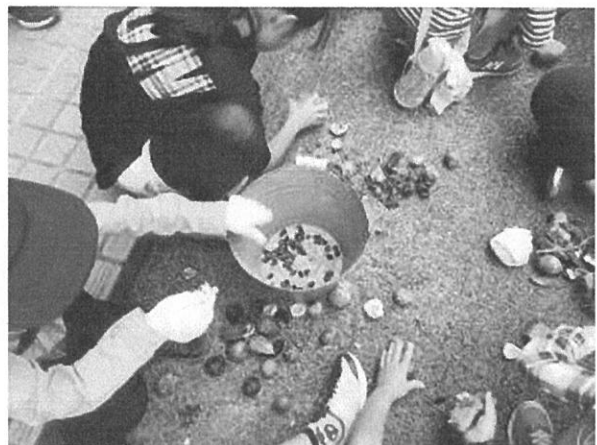
(活動に使った消耗品)



(活動にかかる消耗品の購入)

・鹿沼土、高枝切りバサミ、如雨露、プランター

(活動のようす)



種を取るため、ツバキの実を採りに行きました。枝についている実や、落ちて実を集め、石で砕いて種を取りました。



種は、環境省の保護官さんたちが、万が一に備えて採取してしてくれた実をいただき、種を取りました。

1つのプランターに100個の種をまきました。各学年2つのプランターで苗を育てるので、全部で、1200個の種を育てることになりました。

(子どもたちの感想)

- ・つばきのたねをみつけて、たねをうめたので、みずやりをがんばりたいです。
- ・ヤブツバキ学しゅうで、たねをとったり、うえたりしてたのしかったです。
- ・とった種は、約500こで、準備してくれていた種と合わせて、各学年200個、全部で、1200個の種をうえました。うえた種を大切に育てたいです

(担当教諭の感想)

・上級生は、下級生をリードしながら活動することができ、昨年までの学習が生きていると実感しました。たくさんの種をまいたことで、たくさんの芽が出るという期待を持ったようで、しっかり育てようという意欲を感じました。



活動内容 4	苗の移植 ・昨年、種を植え、育てた苗をプランターからポットに移植する。
実施日時	令和2年12月11日 13:30~14:30
対象学年・人数	全校 21人、教諭7人
実施場所	足摺岬小学校校庭
講師	谷吉さん（環境省自然保護官事務所） 川村会長、他3名（自然を守る会）

(活動に使った消耗品)



(活動にかかる消耗品の購入)

・鹿沼土、赤玉土、肥料、ゴム手袋

(活動のようす)



鹿沼土と赤玉土を混ぜてプランターの底に敷く土を作りました。

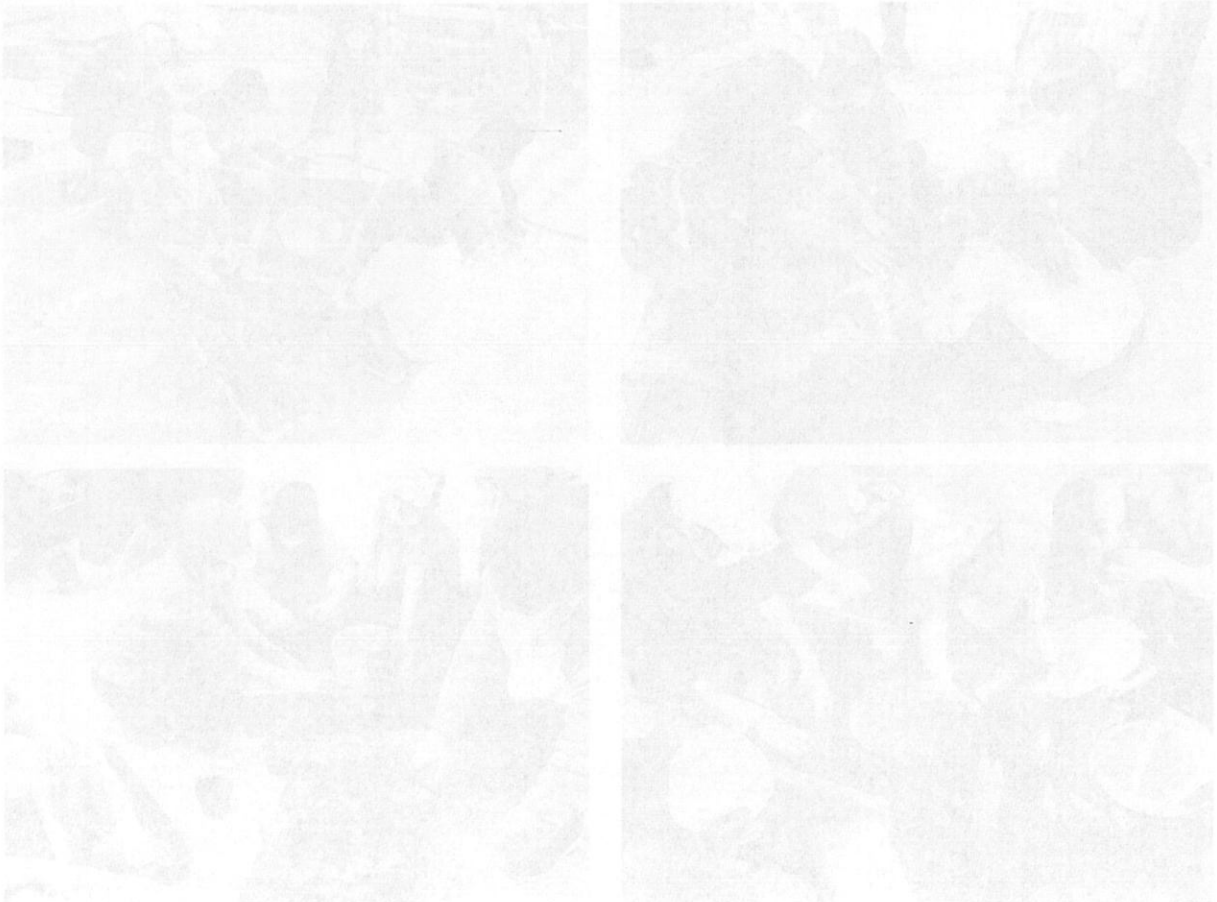
昨年プランターに種をまいて育てた苗を取り出し、ポットに一つずつ移植しました。少し残った苗は、自然を守る会と環境省の皆さんが持ち帰り、育ててくれています。

(子どもたちの感想)

- ・ツバキをプランターからポットに植えかえました。まだ、どんどん成長してほしいと思いました。
- ・ヤブツバキ再生プロジェクトで、ツバキの苗をポットに植えかえをしました。約470個のポット苗ができました。がんばって育てたいです。

(担当教諭の感想)

- ・短時間ででの作業でしたが、子どもたちは、これまでの経験をいかし、手際よく、作業をすることができ、経験することの大切さを感じました。
- 自然を守る会と環境省の皆さんが事前に準備をしていただいたおかげで、時間内に470個のポット苗ができたということへの感謝の気持ちを忘れないでほしいです。



活動内容 5	ツバキの苗の植え戻し ・一昨年前から育てたツバキの苗を植え戻す。
実施日時	令和3年2月15日 9:30～11:20
対象学年・人数	全校 21人、教諭7人
実施場所	足摺岬灯台周辺
講師	山口さん、谷吉さん（環境省自然保護官事務所） 森口さん（国立公園*ジオパーク推進課）浜地さん（市観光協会）

(活動に使った消耗品)



(活動にかかる消耗品の購入)

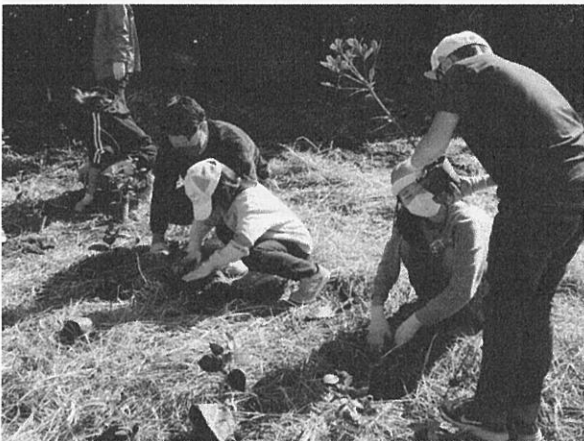
ゴム手袋、如雨露 (活動内容3・4で購入したもの)

(活動のようす)



植え戻し作業の手順について説明を受け、班に分かれて植え戻し作業をしました。





ヤブツバキの苗だけではなく、環境省の自然保護官さんが準備してくれたトベラ、マサキ、シャリンバイと一緒に植えました。自然の状態に近づけるために色々な苗木を植えました。

(つばき園主)

(子どもたちの感想)

- ・つばきをうえるときに石が出てきてじかんがかかりました。202本うえてよかったです。
- ・ヤブツバキ再生プロジェクトで苗の植えもどしをしました。大人になったとき大きくなっていたらうれしいです。
- ・自分たちの植えた苗が、しっかり育ってほしいです。

(担当教諭の感想)

・植え戻すまで育ててきた苗が大きく育ってほしいという思いや今後も育てていきたいという思いを持つことができ良かったと思います。これからの保全活動の担い手として育ってくれよう地域の方々と一緒に活動を続けていかなければと思います。

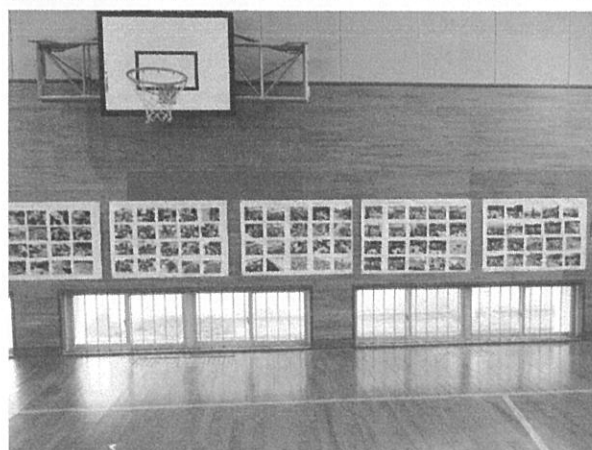
活動内容 6	まとめ学習 ・発表資料作り、学習のまとめ感想
実施日時	令和3年2月22日9:30～11:20 24日8:30～10:15 25日・26日・27日8:30～11:20
対象学年・人数	5・6年8人、教諭2人
実施場所	足摺岬小学校6年教室・図書室
講師	担当教諭 岡田隆也 溝渕紀仁

(活動に使った消耗品)



(活動にかかる消耗品の購入)  
マジック、模造紙、インク、色上質紙

(活動のようす)



今年度の振り返りと来年度も活用できる学習の資料となるよう、今年度の学習について、活動の流れについて誰が見てもわかるよう写真を中心に5・6年生でまとめた。

また、竜串ビジターセンターうみのわに展示するヤブツバキ再生プロジェクトについての資料も、だれが見てもわかるよう工夫してまとめた。

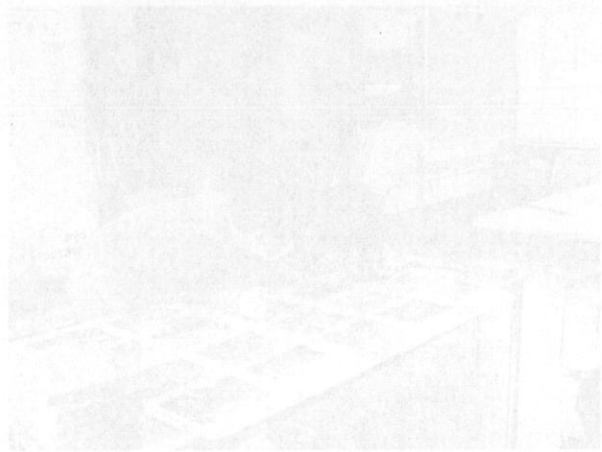
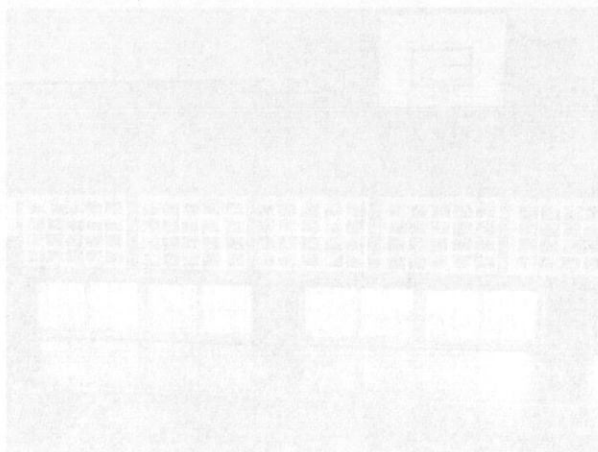
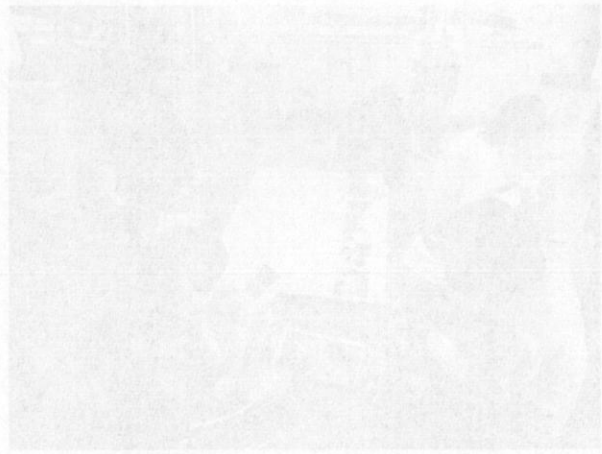
(子どもたちの感想)

・ヤブツバキのことを知ってほしいと思い、ヤブツバキの説明について書きました。相手を読みやすいように色を分け工夫をしました。写真をはったりする作業がすごく大変だったけど最後までやり切ることができたのでよかったです。

(担当教諭の感想)

・今年度は、コロナ禍で学習発表の場がなかったが、竜串ビジターセンターうみのわに掲示させていただけるようになったことをありがたく思っています。

展示発表という形式になりましたが、これまでに無い発表の場をいただき子どもたちの意気込みもちがっており、資料づくりに一生懸命取り組めたことは良かったです。





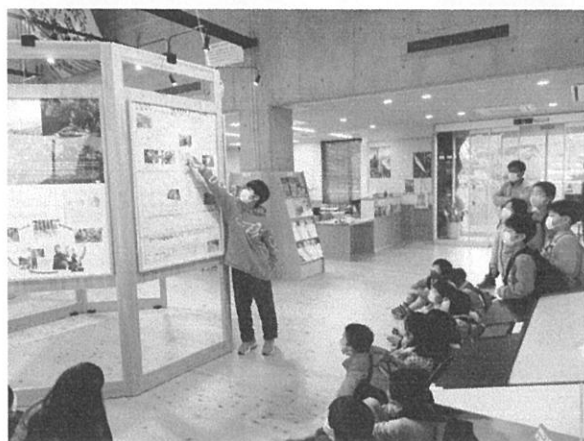
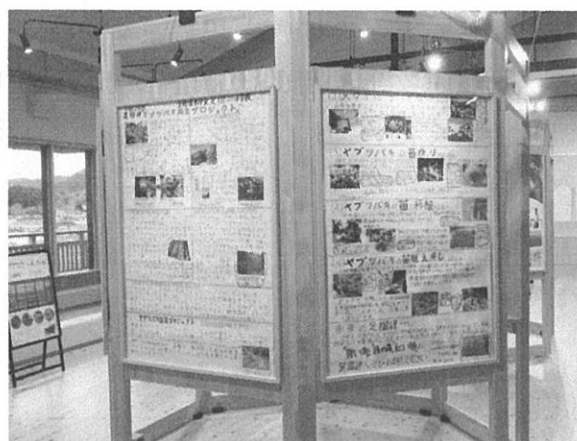
活動内容 7	学習発表 ・展示発表、振り返り
実施日時	令和3年3月2日8:30～14:20
対象学年・人数	全校21人、教諭7人
実施場所	竜串ビジターセンターうみのわ
講師	谷吉さん（環境省自然保護官事務所）

(活動に使った消耗品)



(活動にかかる消耗品の購入)  
マジック、模造紙、インク、色上質紙  
(活動内容6で購入したもの)

(活動のようす)



学習まとめで作成した資料を竜串ビジターセンターうみのわに掲示させていただき、今年度の学習発表としました。同時に、一年の学習の振り返りを行いました。



(子どもたちの感想)

・下級生と谷吉さん（環境省）、「うみのわ」の人たち（職員）に発表しました。「うみのわ」に来る人たちに読んでもらいたいです。

・（作った資料を展示するとき）1番を左にするか、右にするかでなやみしました。低学年、中学年と谷吉さん（環境省）と「うみのわ」の人たち（職員）に発表しました。わからない漢字もあってきんちょうしました。でも、落ち着いて発表できたと思います。竜串に来るたくさんの人に読んでもらいたいです。

(担当教諭の感想)

・今年度は、コロナ禍で学習発表の場がなかったが、竜串ビジターセンターうみのわに掲示させていただけるようになったことをありがたく思っています。

展示発表という形式になりましたが、これまでに無い発表の場をいただき子どもたちの意気込みもちがっており、一生懸命取り組めたことは良かったです。

作った資料も、しばらく展示という形で残るので、多くの人に見てもらえるので、子どもたちにとっても、関係者にとっても喜ばしいことだと思っています。

(今後の課題)

・先ず、苗作りから植え戻しまでは、流れもでき、スムーズに活動できるが、天候や気象状況に影響されるため日程調整に苦労している。余裕を持たせて早めに計画することが大切だと思います。

・プロジェクトの目的のひとつである担い手の育成がありますが、この活動を継続していくためには、植え戻し場所の管理をしながら、成長を見守る活動を取り入れることが必要だと思います。